

第11回日本財団ホスピスナーズ研修会

出演者・プログラムのご紹介

3月1日(木) ■13:00~18:00

1日目

○13:00-13:10 開会挨拶 笹川陽平（日本財団 会長）

○13:25-15:50 グループワーク「その人らしく」生きるを支えるために

○15:50-17:30 講演「緩和ケアで一番大切なことはなんだろう」徳永進

■ 徳永 進 講師略歴

（野の花診療所 院長）

1948年鳥取県生れ。京都大学医学部卒。

京都、大阪の病院・診療所を経て、

鳥取赤十字病院の内科医に。

2001年12月、鳥取市内にてホスピスケア

のある19床の有床診療所「野の花診療所」

を始め、今年で10年目となる。

1998年「死の中の笑み」で第4回講談社ノンフィクション賞受賞

1992年第1回若月賞受賞※

※独自の信念で地域医療をしている人に贈られる賞



3月2日(金) ■9:00~13:00

2日目

○9:00-9:15 1日目の振り返りとオリエンテーション

○9:15-9:35 スピーチ 高屋敷麻里子（盛岡赤十字病院 緩和ケア認定看護師）

富岡里江（ほりきり訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師）

○9:35-10:35 「豊かな晩年をつくー最期まで人間らしさの保証ー」桑田美代子

○11:30-12:15 海外視察報告 市橋正子（在宅緩和ケアセンターほすびす）

赤木郁子（外旭川病院）

市川めぐみ（長崎県島原病院）

福田富滋余（佐世保中央病院）

○12:50-13:00 閉会挨拶 紀伊國献三（笹川記念保健協力財団 理事長）

■ 桑田 美代子 講師略歴

（青梅慶友病院 看護介護開発室長）

1994年青梅慶友病院就職

2000年千葉大学大学院看護学研究科 博士課程修了

2003年日本看護協会認定 老人看護専門看護師試験合格

現在、看護・介護・リハビリスタッフとともに「最後まで寝姿の美しさ」を目標に取り組んでいる。

